



2019年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年6月13日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL <http://www.beautygarage.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 問合せ先責任者 経営管理グループ統括責任者 (氏名)齋藤 高広 (TEL)03(5752)3897
 定時株主総会開催予定日 2019年7月25日 配当支払開始予定日 2019年7月26日
 有価証券報告書提出予定日 2019年7月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年4月期の連結業績 (2018年5月1日～2019年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期	13,852	18.6	628	△3.1	645	△1.2	379	△15.6
2018年4月期	11,680	21.1	648	16.6	653	22.1	449	43.0

(注) 包括利益 2019年4月期 379百万円 (△16.8%) 2018年4月期 455百万円 (43.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年4月期	59.58	59.57	11.1	10.0	4.5
2018年4月期	75.11	74.19	17.6	12.8	5.6

(参考) 持分法投資損益 2019年4月期 -百万円 2018年4月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年4月期	6,827	3,808	54.9	586.98
2018年4月期	6,076	3,116	50.7	495.60

(参考) 自己資本 2019年4月期 3,748百万円 2018年4月期 3,081百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年4月期	606	△320	142	2,052
2018年4月期	152	△507	818	1,607

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年4月期	—	—	—	9.00	9.00	55	11.9	2.1
2019年4月期	—	—	—	9.00	9.00	57	15.1	1.7
2020年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00		13.9	

3. 2020年4月期の連結業績予想 (2019年5月1日～2020年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,453	15.1	232	7.5	239	11.6	131	4.8	20.95
通期	16,035	15.8	743	18.3	751	16.5	451	19.0	71.86

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規4社（社名） BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE. LTD.、BEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN. BHD.、
株式会社BGベンチャーズ、BGベンチャーファンド第1号投資事業組合、
除外—社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年4月期	6,376,000株	2018年4月期	6,218,000株
② 期末自己株式数	2019年4月期	482株	2018年4月期	482株
③ 期中平均株式数	2019年4月期	6,368,765株	2018年4月期	5,985,970株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（業績予想の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（日付の表示方法の変更）

「2019年4月期 第3四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が続いておりますが、一方で米国の政策動向や中国経済の減速、EUの動向等、国際経済の不確実性や金融市場の変動が懸念されることにより、先行きは未だ不透明な状況が続いております。

美容業界におきましては、顧客単価の下落や来店頻度の減少といった厳しい事象が続いており、結果として低価格店の登場や専門店への細分化、フリーランスの増加等、ビューティサロンの経営環境も変化してきており、生き残りをかけた店舗間競争が激化してきております。

そのような状況下、当連結会計年度では、中長期的な成長のための、積極投資が先行する一年となりました。まず5月にECサイトのフルリニューアルと新基幹システム(ERP)の導入を実施しIT機能の進化を図りました。当初は想定外の不具合等も発生しましたが、現在は着実な改善を続けながら安定した運用を行っております。また、グローバル市場における収益機会獲得のための施策としまして、7月にシンガポール、8月にはマレーシア、12月には台湾における現地法人拠点が営業を開始いたしました(※)。一方、国内においては、美容サロンに特化したM&A仲介サイト「サロンM&Aネット」、美容師や美容室経営者の為のWEBメディア「BeauTOPIA」の開設など、美容業界のニーズに応えるべく新規サービス等も立ち上げております。11月には美容領域に特化したコーポレートベンチャーファンドである「BGベンチャーファンド第1号投資事業組合」も組成し、さらなる新規事業の創出やコア事業の領域拡大を図り美容業界の活性化に貢献してまいり所存です。

※BEAUTY GARAGE TAIWAN Inc. は当期は連結対象外です。

この結果、当連結会計年度における売上高は13,852,101千円(前年同期比18.6%増)、売上総利益は4,215,032千円(前年同期比12.5%増)、営業利益は628,255千円(前年同期比3.1%減)、経常利益は645,092千円(前年同期比1.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は379,429千円(前年同期比15.6%減)となりました。

①物販事業

物販事業においては、インターネット卸通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、全国の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

当連結会計年度におきましては、新ECサイトの機能活用等による既存顧客の囲い込みや利用頻度向上施策に注力した結果、EC売上構成比率が72.1%(前年同期実績68.7%)と増加し、ロイヤルユーザ数(過去1年間で6回以上購入したユーザ数)も28,268口座(前年同期比15.3%増)となりました。また成長カテゴリーである化粧品・材料の受注を拡大するべく、商品ラインナップの拡充とプライスリーダーシップ戦略で市場シェア獲得に注力してまいりました。その結果として化粧品・材料売上高構成比率が44.2%(前年同期実績40.4%)に高まったことに加えて、PB機器の販売がやや伸び悩んだことから、売上総利益率は低下傾向となりました。

この結果、当事業の売上高は10,504,508千円(前年同期比17.1%増)、セグメント利益は513,656千円(前年同期比34.2%減)となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

これまでトレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計・施工の提案を行うことで、独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、チェーン店本部や大型店の受注も多数獲得しております。当連結会計年度におきましては、タフデザインプロダクト自体の認知度向上の成果として、新規問い合わせの件数が大幅に増加いたしました。また受注増加に対応するため積極的に人材増員を行った年度でもありました。店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

当事業の売上高は2,927,157千円(前年同期比18.5%増)、セグメント利益は142,026千円(前年同期比4.0%増)となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュースサービス、居抜き物件仲介サービス、集客支援サービス、保険サービス、システム導入支援サービス、店舗リース、M&A仲介サービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当連結会計年度におきましては、業績面では店舗リース事業が大きく伸長したことに加え、居抜き物件仲介サービスや保険サービスが堅調に推移し、当事業の売上高は420,435千円（前年同期比74.7%増）、セグメント利益は22,042千円（前年同期比671.7%増）となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11.7%増加し、5,424,381千円となりました。これは、主に現金及び預金の増加、棚卸資産及び売上債権の増加があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて15.1%増加し、1,402,814千円となりました。これは、主に投資その他の資産の増加によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.4%増加し、2,671,166千円となりました。これは、主に短期借入債務の減少があったものの、仕入債務の増加があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、347,124千円となりました。これは、主に長期借入債務の減少があったことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて22.2%増加し、3,808,906千円となりました。これは、主に新株予約権行使による資本金及び資本準備金の増加があったことと、配当金の支払に伴い利益剰余金の減少55,957千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加379,429千円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ444,884千円増加し、2,052,533千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、606,375千円（前年同期は152,543千円の資金増加）となりました。これは、主にたな卸資産の増加及び法人税等の支払額があったものの、税金等調整前当期純利益の計上、仕入債務の増加及び減価償却費の計上があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、320,460千円（前年同期は507,492千円の資金減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出、投資有価証券の取得による支出及び敷金・保証金の差入れによる支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、142,024千円（前年同期は818,733千円の資金増加）となりました。これは、主に借入債務の返済による支出及び配当金の支払額があったものの、株式の発行による収入があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の国内美容業界においては、ビューティサロンの経営環境に様々な変化がおり、より一層厳しい競争状況になるものと予想されています。その一方でASEAN諸国や東アジアにおいては、その経済成長とともに美容業界も大きく発展してきております。

そのような見通しの中で当社は、BtoB美容業界向けECプラットフォームとして早期に国内で圧倒的NO.1の地位を確立するとともに、中期的には「アジアNo.1のIT美容商社」となることを目指しております。

2020年4月期は、営業面、サービス面の一層の強化を行うことで、ロイヤル顧客の拡大と一顧客あたりの年間ご利用額の増加も目指してまいります。また2018年5月に投入した新ECサイトと新基幹システムの安定運用とUI/UXのさらなる進化・改善を行うことで、目に見える成果を着実に出していく年度としたいと考えております。しかしながらグローバル市場攻略に向けては、ITシステム投資などの積極投資が引き続き先行する年度となる見込みです。

以上により、2020年4月期の連結業績予想につきましては、売上高16,035百万円（前年同期比115.8%）、営業利益743百万円（前年同期比118.3%）、経常利益751百万円（前年同期比116.5%）、親会社株式に帰属する当期純利益451百万円（前年同期比119.0%）を見込んでおります。

なお、上記に記載した将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものでありますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当連結会計年度 (2019年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,607,648	2,052,533
受取手形及び売掛金	1,139,389	1,163,717
商品及び製品	1,449,812	1,635,124
仕掛品	99,578	83,264
前渡金	319,855	268,485
その他	265,899	238,225
貸倒引当金	△24,657	△16,969
流動資産合計	4,857,526	5,424,381
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	143,589	154,998
機械及び装置（純額）	10,875	2,886
車両運搬具（純額）	3,146	3,176
工具器具備品（純額）	48,794	52,337
土地	38,099	38,099
有形固定資産合計	244,505	251,499
無形固定資産		
のれん	122,683	146,732
ソフトウェア	36,447	299,441
ソフトウェア仮勘定	311,367	7,100
その他	755	1,558
無形固定資産合計	471,253	454,832
投資その他の資産		
投資有価証券	108,630	240,885
繰延税金資産	117,693	122,338
敷金保証金	247,641	295,503
その他	29,042	37,755
貸倒引当金	△98	-
投資その他の資産合計	502,909	696,482
固定資産合計	1,218,668	1,402,814
資産合計	6,076,194	6,827,196

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当連結会計年度 (2019年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,053,865	1,233,436
短期借入金	143,334	47,000
1年内返済予定の長期借入金	178,933	149,162
未払金	311,633	280,290
未払法人税等	156,519	149,315
前受金	302,229	240,832
賞与引当金	36,145	50,628
製品保証引当金	5,832	11,771
受注損失引当金	11,241	6,435
株主優待引当金	3,240	3,240
役員退職慰労引当金	75,000	12,274
株式報酬引当金	-	12,047
その他	329,315	474,732
流動負債合計	2,607,290	2,671,166
固定負債		
長期借入金	174,226	167,040
退職給付に係る負債	17,342	8,434
ポイント引当金	59,049	74,442
資産除去債務	44,018	44,224
その他	57,694	52,982
固定負債合計	352,331	347,124
負債合計	2,959,622	3,018,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	593,232	768,385
資本剰余金	543,999	712,345
利益剰余金	1,944,551	2,268,022
自己株式	△351	△351
株主資本合計	3,081,432	3,748,402
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	-	△6,102
その他の包括利益累計額	-	△6,102
新株予約権	1,903	1,028
非支配株主持分	33,236	65,578
純資産合計	3,116,572	3,808,906
負債純資産合計	6,076,194	6,827,196

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年5月1日 至 2018年4月30日)	当連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)
売上高	11,680,469	13,852,101
売上原価	7,934,975	9,637,069
売上総利益	3,745,493	4,215,032
販売費及び一般管理費	3,097,216	3,586,777
営業利益	648,277	628,255
営業外収益		
受取利息及び配当金	70	35
仕入割引	600	601
為替差益	4,433	-
受取手数料	806	1,162
投資有価証券売却益	-	5,002
違約金収入	-	17,744
その他	2,299	4,040
営業外収益合計	8,210	28,587
営業外費用		
支払利息	1,648	1,897
為替差損	-	5,816
障害者雇用納付金	1,360	1,640
その他	383	2,396
営業外費用合計	3,391	11,750
経常利益	653,096	645,092
特別利益		
新株予約権戻入益	236	-
特別利益合計	236	-
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	-	12,274
和解金	489	-
特別損失合計	489	12,274
税金等調整前当期純利益	652,843	632,817
法人税、住民税及び事業税	204,412	249,705
法人税等調整額	△7,361	△2,384
法人税等合計	197,051	247,320
当期純利益	455,792	385,496
非支配株主に帰属する当期純利益	6,203	6,067
親会社株主に帰属する当期純利益	449,588	379,429

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年5月1日 至 2018年4月30日)	当連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)
当期純利益	455,792	385,496
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	-	△6,473
その他の包括利益合計	-	△6,473
包括利益	455,792	379,023
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	449,588	373,326
非支配株主に係る包括利益	6,203	5,696

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年5月1日 至 2018年4月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	269,745	220,512	1,536,791	△274	2,026,774
当期変動額					
新株の発行	323,487	323,487			646,975
連結子会社株式の取得による持分の増減					
剰余金の配当			△41,828		△41,828
親会社株主に帰属する当期純利益			449,588		449,588
自己株式の取得				△76	△76
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	323,487	323,487	407,759	△76	1,054,657
当期末残高	593,232	543,999	1,944,551	△351	3,081,432

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	-	-	236	27,033	2,054,043
当期変動額					
新株の発行					646,975
連結子会社株式の取得による持分の増減					-
剰余金の配当					△41,828
親会社株主に帰属する当期純利益					449,588
自己株式の取得					△76
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			1,667	6,203	7,871
当期変動額合計	-	-	1,667	6,203	1,062,528
当期末残高	-	-	1,903	33,236	3,116,572

当連結会計年度(自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	593,232	543,999	1,944,551	△351	3,081,432
当期変動額					
新株の発行	175,152	175,152			350,305
連結子会社株式の取得による持分の増減		△6,806			△6,806
剰余金の配当			△55,957		△55,957
親会社株主に帰属する当期純利益			379,429		379,429
自己株式の取得				-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	175,152	168,345	323,471	-	666,969
当期末残高	768,385	712,345	2,268,022	△351	3,748,402

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	-	-	1,903	33,236	3,116,572
当期変動額					
新株の発行					350,305
連結子会社株式の取得による持分の増減					△6,806
剰余金の配当					△55,957
親会社株主に帰属する当期純利益					379,429
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6,102	△6,102	△875	32,341	25,363
当期変動額合計	△6,102	△6,102	△875	32,341	692,333
当期末残高	△6,102	△6,102	1,028	65,578	3,808,906

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成29年5月1日 至 平成30年4月30日)	当連結会計年度 (自 平成30年5月1日 至 平成31年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	652,843	632,817
減価償却費	74,403	128,731
のれん償却額	13,631	40,083
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	-	△5,002
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,811	△7,787
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	7,278	15,392
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△4,089	5,938
その他の引当金の増減額 (△は減少)	5,119	△49,909
受取利息及び受取配当金	△70	△33
支払利息	1,648	1,897
有形固定資産除売却損益 (△は益)	-	371
売上債権の増減額 (△は増加)	△241,522	△24,173
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△301,486	△194,919
仕入債務の増減額 (△は減少)	189,693	176,161
前渡金の増減額 (△は増加)	△143,530	68,072
未払金の増減額 (△は減少)	52,230	△55,239
前受金の増減額 (△は減少)	66,607	△62,483
その他	5,506	187,645
小計	383,074	857,564
利息及び配当金の受取額	70	33
利息及び保証料の支払額	△1,675	△1,829
営業活動によるキャッシュ・フロー	152,543	606,375
和解金の支払額	△489	-
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△228,437	△249,392
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	-
有形固定資産の取得による支出	△58,559	△60,202
有形固定資産の売却による収入	-	1,186
無形固定資産の取得による支出	△134,725	△38,964
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△190,187	-
投資有価証券の取得による支出	△95,565	△187,825
投資有価証券の売却による収入	1,000	15,007
敷金保証金の差入による支出	△21,122	△64,589
敷金保証金の回収による収入	2,283	18,610
資産除去債務の履行による支出	△4,305	△311
その他	△6,310	△3,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	△507,492	△320,460

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成29年5月1日 至 平成30年4月30日)	当連結会計年度 (自 平成30年5月1日 至 平成31年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	135,000	17,000
短期借入金の返済による支出	△57,798	△113,334
長期借入れによる収入	350,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△215,320	△222,776
株式の発行による収入	646,975	349,430
新株予約権の発行による収入	1,667	-
自己株式の取得による支出	△76	-
非支配株主からの払込みによる収入	-	17,617
配当金の支払額	△41,713	△55,912
財務活動によるキャッシュ・フロー	818,733	142,024
現金及び現金同等物に係る換算差額	△460	△3,701
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	463,324	424,238
現金及び現金同等物の期首残高	1,144,323	1,607,648
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	20,646
現金及び現金同等物の期末残高	1,607,648	2,052,533

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別のセグメントから構成されており、「物販事業」、「店舗設計事業」及び「その他周辺ソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「物販事業」は、理美容室やエステティックサロン・ネイルサロン等の各種ビューティサロンで使用する理美容機器・化粧品等の仕入、販売を行っております。「店舗設計事業」は、店舗の内装工事等に関する設計・施工・監理を行っております。「その他周辺ソリューション事業」は、理美容室やビューティサロンに対する不動産仲介・店舗リース・開業支援・ITサポート・保険事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年5月1日 至 2018年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,968,629	2,471,169	240,670	11,680,469	-	11,680,469
セグメント間の内部 売上高又は振替高	406,616	73,217	54,715	534,549	△534,549	-
計	9,375,246	2,544,386	295,386	12,215,019	△534,549	11,680,469
セグメント利益	780,177	136,566	2,856	919,600	△271,322	648,277
セグメント資産						
その他の項目						
減価償却費	64,240	5,721	5,016	74,977	△574	74,403
のれん償却費	13,631	-	-	13,631	-	13,631
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	70,921	4,186	6,132	81,239	267,767	349,006

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△271,322千円には、セグメント間取引消去54,372千円、未実現利益の調整額△7,126千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△318,568千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額1,236,301千円には、セグメント間取引消去△430,183千円、未実現利益の調整額△10,947千円、各報告セグメントに配分していない全社資産1,677,432千円が含まれております。全社資産は、主に当社での余剰運用資金（現金及び預金）及び管理部門にかかる資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額△574千円には、未実現利益の調整額△764千円、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費190千円が含まれております。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額267,767千円には、未実現利益の調整額△11,714千円、各報告セグメントに配分していない全社資産279,481千円が含まれております。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,504,508	2,927,157	420,435	13,852,101	-	13,852,101
セグメント間の内部 売上高又は振替高	220,153	41,557	58,799	320,509	△320,509	-
計	10,724,661	2,968,714	479,234	14,172,611	△320,509	13,852,101
セグメント利益	513,656	142,026	22,042	677,725	△49,470	628,255

(注) 1. セグメント利益の調整額△49,470千円には、セグメント間取引消去104,385千円、未実現利益の調整額37,557千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△191,413千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年5月1日 至 2018年4月30日)	当連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)
1株当たり純資産額	495.60 円	586.98 円
1株当たり当期純利益金額	75.11 円	59.58 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	74.19 円	59.57 円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年5月1日 至 2018年4月30日)	当連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	449,588	379,429
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	449,588	379,429
普通株式の期中平均株式数(株)	5,985,970	6,368,765
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	73,860	618
(うち新株予約権(株))	(73,860)	(618)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当連結会計年度 (2019年4月30日)
純資産の部の合計額(千円)	3,116,572	3,808,906
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	35,140	66,606
(うち新株予約権(千円))	(1,903)	(1,028)
(うち非支配株主持分(千円))	(33,236)	(65,578)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,081,432	3,742,299
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	6,217,518	6,375,518

(重要な後発事象)

該当事項はありません。